

# 京都府京丹後市



## 海の京都

京丹後市

海岸線 約90.0km

面積 501.84 km<sup>2</sup>

南北  
約30.0km

東西 約35.0km

東経  
135° 03' 49"

北緯  
35° 37' 15"



『間人蟹』  
幻のブランドガニ



『丹後コシヒカリ』  
食味ランク 特A米



『山陰海岸ジオパーク』  
ユネスコ世界ジオパーク認定

京都府



『300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊』  
日本遺産認定

# 京丹後市の概要

人 口 : 56,337人 (H29年3月末現在)

世 帯 数 : 22,717世帯 (H29年3月末現在)

高 齢 化 率 : 34.8% (H29年3月末現在)

面 積 : 501.84平方キロメートル

主 要 産 業 : 金属製品・一般機械・輸送機械・械製造業・  
繊維・衣服製造業・農林水産業・観光業

産 業 別 就 業 率 : 一次産業 2,317人 (8.6%)  
(H27国勢調査) 二次産業 8,331人 (30.8%)  
三次産業 16,365人 (60.6%)

保 護 率 : 10.17% (H29年3月末現在)

# 寄り添い支援総合サポートセンター 相談件数推移

年度	相談件数					貸付 件数
	市民	消費	多重	困窮	合計	
平成23年度	342	132	71	207	752	39
平成24年度	214	174	65	118	571	57
平成25年度	126	245	51	108	530	38
平成26年度	143	311	50	85	607	18
平成27年度	100	292	41	78	511	21
平成28年度	81	302	19	48	450	8

# ～寄り添い支援事業の経過～

## 誰一人置き去りにしないまちづくりの推進

平成  
**23**年度

### 『暮らし』と『しごと』の 寄り添い支援センター開所

暮らしの中で起こる様々な問題に対して、問題解決のための相談から支援までを個別に伴走型で実施

平成  
**25**年度

### 寄り添い支援 総合サポートセンター開所

市の相談機関を一か所に集めることでワンストップで相談支援を行なう  
(連携強化と利便性向上)

平成  
**27**年度

### 黒部の居場所 ひまわり開所

解決困難な問題を抱えている人は社会・地域・家族から孤立していることが多いことから、これに対応する居場所づくり事業を実施する

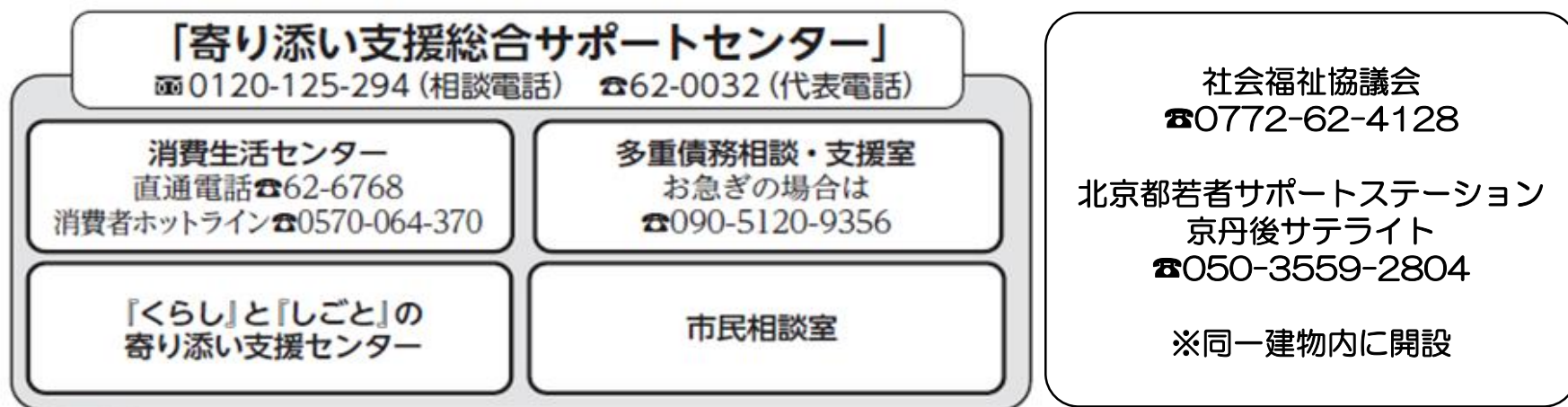
内閣府パーソナル・サポート  
サービスモデル事業

厚労省生活困窮者  
自立促進モデル事業

生活困窮者自立支援法に  
基づく自立相談支援機関

# 総合相談支援窓口の受付体制

## ①ワンストップの相談窓口



## ②職員配置

- ・消費生活・多重債務: 行政職員1人 消費相談員2人
- ・市民相談・暮らしとしごと: 行政職員3人 相談支援員7人

- ## ③受付時間
- 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分  
(土日・祝 年末年始など閉庁日を除く)

# 総合相談支援窓口の受付体制

- ①福祉事務所の同一敷地内の別棟に設置
- ②寄り添い支援総合サポートセンター内配置図





# 寄り添い支援総合サポートセンターの事業

## 市民相談室

様々な簡易相談を受けて、助言等を実施している。内容は土地の境界問題から市役所の苦情まで多岐にわたる。庁内各部署との調整や繋ぎも行なう。

## 消費生活センター

訪問やネット販売など消費者トラブルによる相談を解決するため、助言だけではなくあっせんなども行なう。また、予防のための啓発活動にも取り組んでいる。

## 多重債務相談・支援室

多重債務に悩む方に対して、弁護士や司法書士との連携による債務問題の解決や生活を再建するために自立相談支援担当や生活保護担当との連携により支援をしている。

## くらしの資金貸付事業

一時的な需要により、生活に困っている低所得者世帯へ、最大20万円の貸付けによる、生活再建を目指す。また、債務整理による一時的な困窮者も一定の要件を満たせば貸付け対象としている。



## 生活困窮者自立支援制度

### 自立相談支援事業

市民相談室では解決をしないような相談や他機関や関係者や家族から依頼の相談に対して、面談、同行、他機関や関係者、家族との調整など、問題解決に向けた伴走支援及び見守りなど行なう。（住居確保給付金対象者や生活福祉資金対象者も含む）広報活動、シンポジウム、協議会、支援調整会議などの開催、他の自治体との連携、就労体験先の開拓、社会的孤立者等への社会参加活動（ボランティア活動など）を推進するための支援など幅広く活動している。

### 就労準備支援事業

生活から就労にまつわる基礎的な知識を習得できるセミナーなどの開催や「社会的孤立者等居場所づくり事業」を活用した通所型の就労準備支援の実施（委託）をしている。また、企業などでの就労体験の調整等の実施もしている。

### 一時生活支援事業

直接相談や関係機関からの紹介などで、緊急的な住居喪失者などに対応するため旅館を借り上げて一時的に生活を支援し、この間に、住居の確保や他制度へのつなぎ、就労の支援などを実施している。

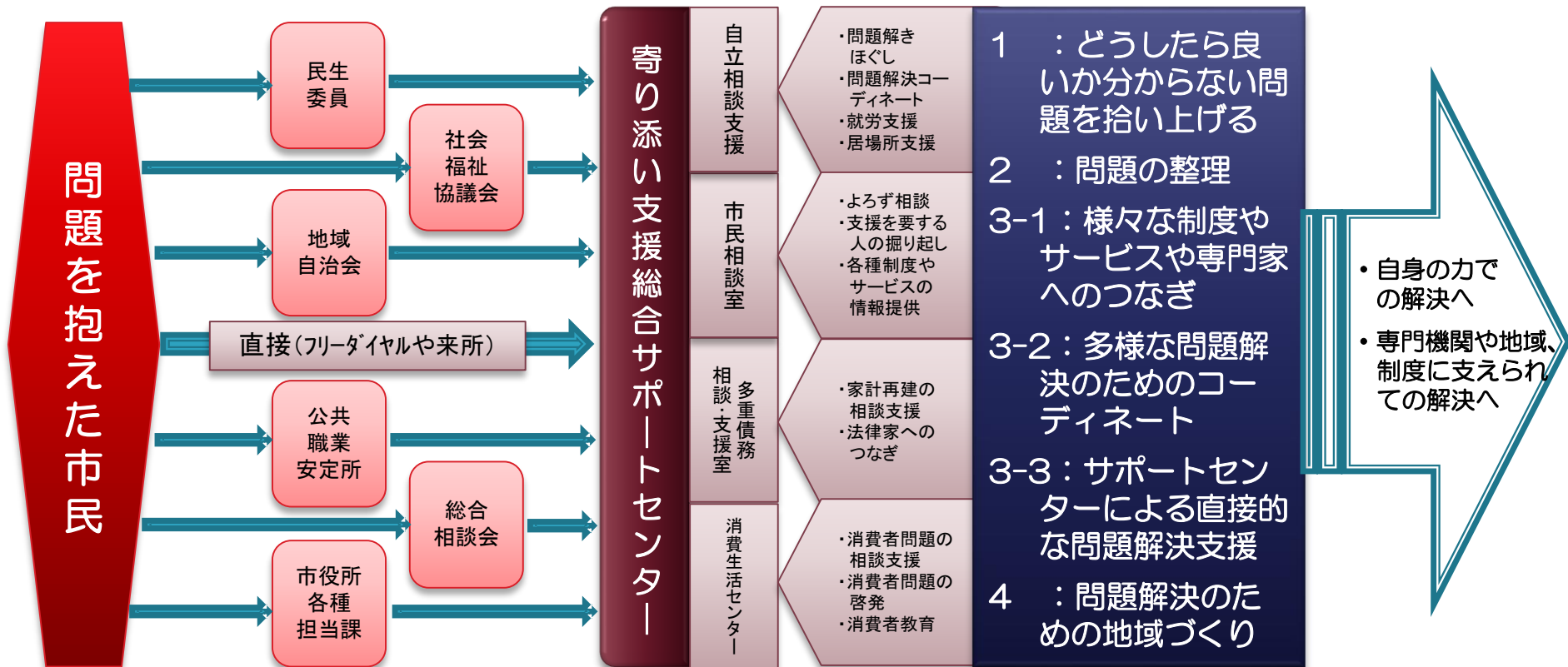
### 子どもの学習支援事業（訪問型）

被生活保護世帯の小中学生を対象に、生活保護ワーカーが周知選定し、同意がとれた世帯について生活保護担当課、家庭ことも相談室、教育員会、学校などとの支援調整会議を開催したうえで、利用決定を行う。その後、学習支援コーディネーターが家庭を訪問し、保護者や子どもたちと面談して学習環境の調整や学校の補習を中心とした学習支援を実施する。一定、学習環境が整う状況になったら、スポット学習支援員による学習支援に切り替えている。

### 社会的孤立者等居場所づくり事業

社会的に孤立している方を対象にした通所型の居場所の提供と、就労体験及び多世代・地域・都市農村交流等の社会的繋がり回復のための拠点とする。※地方創生先行交付金を活用して統廃合で廃止された保育所施設を改修して開設（弥栄町黒部）

# 寄り添い支援総合サポートセンターでの 相談支援の流れ







# ～就労支援の取り組み～

## 就労支援...いったい何をどうする

- ・HW同行(一緒に行って何する?)
- ・履歴書添削(そもそも自分が書いた記憶が...)
- ・模擬面接(ポイントって何だろう)
- ・これ以外に支援って何があるんだ?

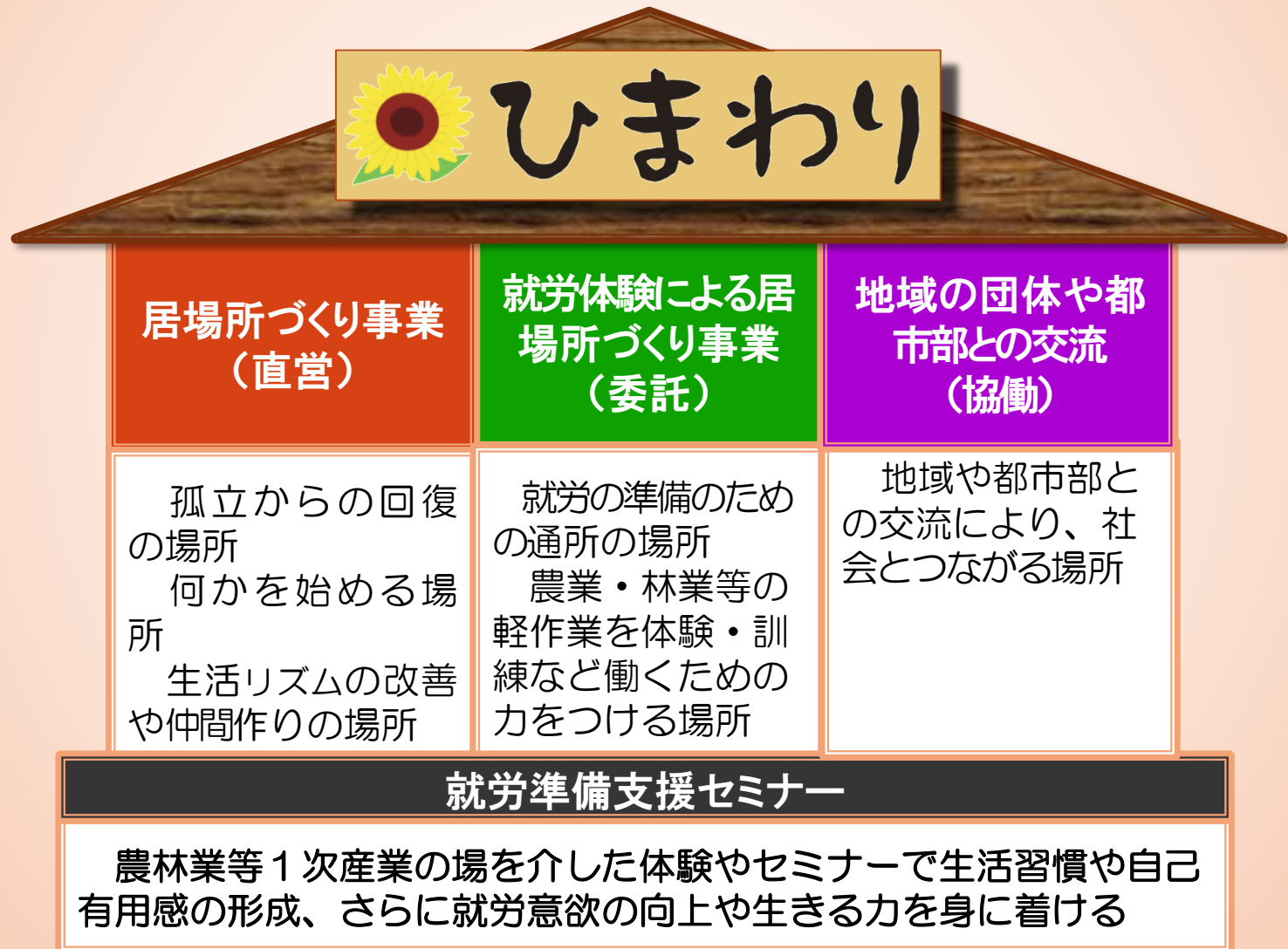
ハローワークと  
就労支援をしている  
機関へ相談

### 支援として実施した内容

求職活動の同行  
履歴書添削・模擬面接・求人票の解説  
産業カウンセラーによるカウンセリング【若サポ事業実施事業体委託】  
就職支援セミナー(1対多)【若サポ事業実施事業体委託】  
企業訪問  
社会活動(ボランティア)支援  
就労体験事業  
ハローワークの出張相談  
就労体験【若サポ事業実施事業体委託+直営】  
生活・ビジネスマナー【障害者支援社会福祉法人委託】  
農業体験セミナー【若サポ事業実施事業体委託】  
合宿型就労体験セミナー【若サポ事業実施事業体委託】  
就労困難者の介護職講座【高齢者支援株式会社委託】  
地元企業へのアンケート調査:中間的就労調査研究【若サポ事業実施事業体委託】  
就労準備支援セミナー【京都府事業乗り入れ...京都自立就労サポートセンター委託】  
合宿型就労支援セミナー【京都府事業乗り入れ...京都自立就労サポートセンター委託】

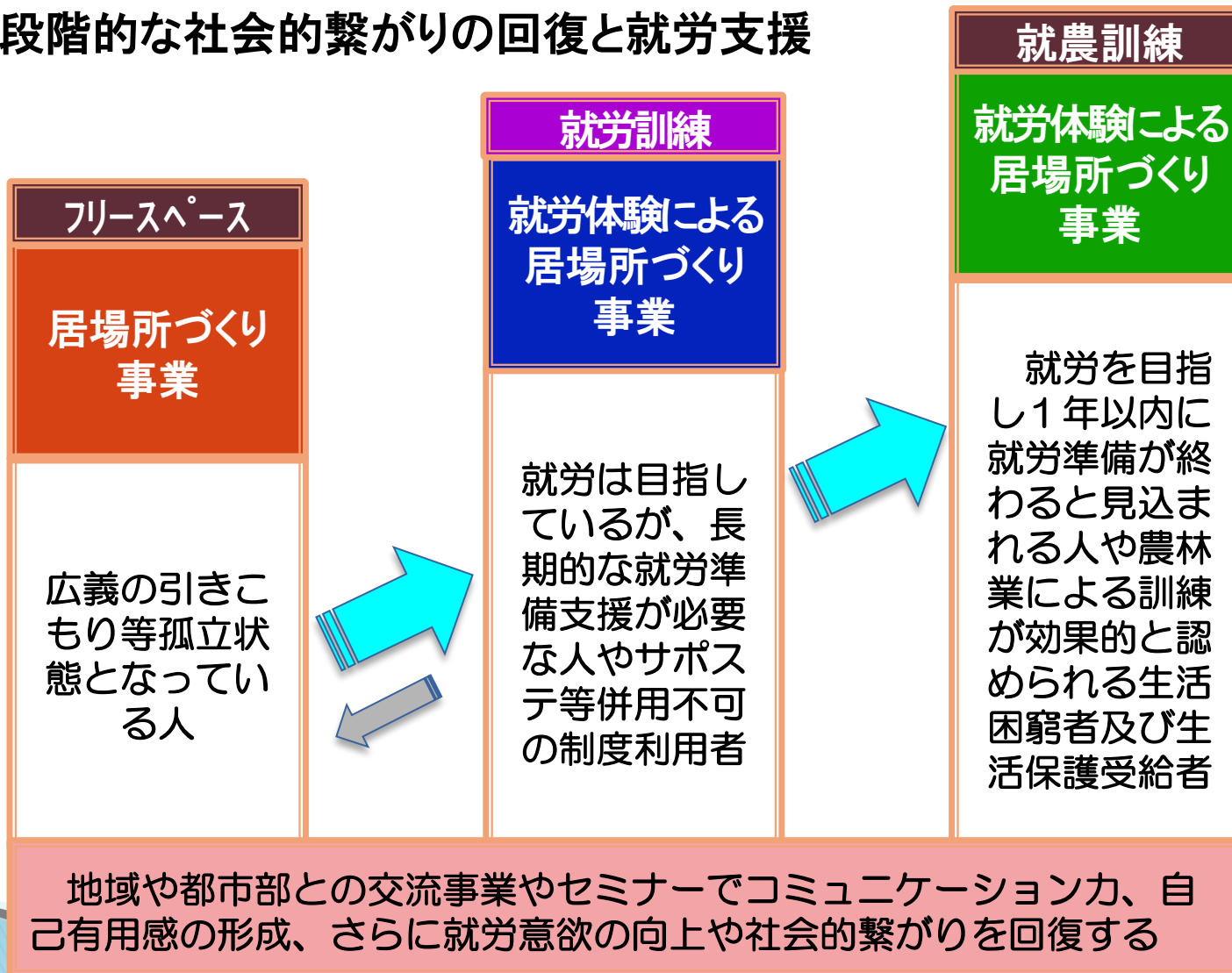
# 「黒部の居場所ひまわり」の開設

平成28年1月開所



# 居場所事業イメージ図

段階的な社会的繋がり回復と就労支援



# 居場所づくり事業

現場職員：1名

## 何をする？

- ・くつろいだ雰囲気の中、自由に過ごしていただきます。
- ・時々、体操やゲーム、料理作りなどを一緒に行います。
- ・建物の隣には畑や田んぼがあり、農作業の体験もできます。
- ・セミナーや学習会を行うこともあります。
- ・みんなで意見交換なども行ないます。

# 就労体験による居場所づくり事業

現場職員:3名

## 何をする？

- ▶ その方の体調と、したい作業内容を登録時にお聞きし、一人一人に合った作業を中心に行なってもらいます。
- ▶ 天候によっては、希望を聞きながら他の作業を行なってもらう場合もあります。
- ▶ 園庭や屋内での作業(農業・軽作業等体験・訓練)が中心です。
- ▶ 体力のある方には山の仕事(集材作業補助など)もあります。



# 都市部との交流事業

## 釜ヶ崎支援機構・ひと花センター利用者との交流

田植え稲刈り交流

西成区訪問交流事業

黒部の居場所 田植え

西成 夏まつり

黒部の居場所 稲脱穀

※相互の予算で事業交流

西成 産直販売会

# ～黒部ひまわり利用状況～

## 利用実績(平成29年3月末)

### 居場所づくり事業

延べ利用実績 40人/月平均

※就労体験による居場所づくり事業利用者も休憩などの形で利用

### 就労体験による居場所づくり事業

登録者数(累計) 20名 (H28 新規6名)  
利用終了者数 8名 (就労 6名 離脱2名)  
進路決定者数(延べ) 12人 (就労10人 研修1人)  
就労先：製造業(機械加工・製パン) 飲食業 農業法人  
就労移行支援事業所 ※手帳取得受容含む  
京都府ものづくり研修(金属加工)

延べ利用実績 138人/月平均

# 平成28年度新規補助事業の取組状況(生活困窮者等の就農訓練事業)

## 京都府京丹後市の概要

人口:57,009人(H28.8月末時点)  
世帯数:22,725世帯(H28.8月末時点)  
高齢化率:34.3%(H28.8月末時点)  
保護率:10.3%(H25年度)



## 事業概要

### 1. 事業実施の背景

- 相談者への面談のみによるアセスメントに限界を感じていたことから、就農体験を通じた見立てを行うために実施。就農訓練を通じて利用者の自己有用感を高めたり、適正職種等を見立てる機会となっているほか、荒廃農地の利用にも繋がっている。

### 2. 実施状況・利用状況

- 企業組合労協センター事業団に委託。被保護者への就農訓練事業と一体的に実施。
- 就農訓練事業担当者2名(田畑担当1名、里山担当1名)を配置。
- 利用者は週2~5回の通所型で利用し、3か月で支援内容を見直すことにしている。
- 生活困窮者のみではなく、被保護者、サポステ利用者等も対象とすることで利用者を増やしている (事業費は利用者数に応じて按分。平成28年10月時点の利用者数:困窮者4人、被保護者2人、サポステ10人)。

### 3. 取組内容

- 農家や自治会への聞き込みにより、近隣の荒廃農地を探した上で持ち主の了解を得て、そこで田畑耕作を実施。
- この他、里山整備(集材作業補助)、事業所内での内職、他都市・地方間連携による釜ヶ崎支援機構や京都自立就労サポートセンター等との農業体験等を通じた利用者の交流も行っている。
- 知識や技術が必要な農作業を行うときは、近くの農家を講師として招いている(謝金を支給)。
- 利用者に対し工賃等を支給していないが、作業に応じてポイントを付与し、貯まったポイントを収穫した農作物等と交換できるようにしている。
- 希望者には曜日ごとに方面を決めて近隣までの送迎を実施。
- 当該事業所には自立相談支援事業の支援員も配置しており、常に連携が図られている。